

妊娠・出産・子育てに関すること

これからママ・パパになる方や、子育て中のご家族を応援します。日頃の子育てに関する疑問や不安、ママ・パパ自身の体調や心配ごとなどご相談ください。ご相談は、電話・窓口・訪問・メールなどによりお受けしますので、お気軽にご連絡ください。【相談用QRコード↑】

母子健康手帳の交付
 ◎日時:月～金曜日/8:30～17:00 ◎場所:葦山福祉・保健センター
 ◎持ち物:妊娠届出書・個人番号(マイナンバー)カード
 ※個人番号カードがない場合は、個人番号通知カードと顔写真のついた身分証明(運転免許証等)
 妊婦さん名義の通帳またはキャッシュカード・印鑑

不妊・不育症治療費助成金
 ◎日時:月～金曜日/8:30～17:15
 ◎場所:葦山福祉・保健センター
 ◎持ち物:事前に健康づくり課までご連絡ください。もしくは、ホームページ参照→

妊産婦健康診査
 ◎医療機関で受けることができます(要予約)
 ◎母子健康手帳と同時に交付される受診票を指定医療機関に提出して、健康診査を受けてください。
 ◎県外で受診予定の方は、事前に健康づくり課までご連絡ください。

パパママ学級
 ◎日時:13:00～15:00 【第1回】令和5年 6月2日・21日 (予定) 【第2回】令和5年 10月6日・11月7日 【第3回】令和6年 2月2日・27日
 ◎場所:葦山福祉・保健センター
 ◎対象の方へ、開催日1か月前をめやすにお知らせを送付します。

事業名	4か月児離乳食教室	6か月児相談/ブックスタート	1歳児相談	1歳6か月児健診	2歳児健診	3歳児健診	2歳6か月児3歳6か月児フッ素塗布	のびのび相談会(※要予約)
受付時間	9:30～9:45	9:15～9:30	9:30～9:45	13:10～13:40			13:10～14:00	9:00～10:45
4月	12 4年12月生	26 4年10月生	25 4年3月生	25 3年9月生	19 3年3月生	20 2年3月生	21 2年9月生 1年9月生	13
5月	10 5年1月生	17 4年11月生	23 4年4月生	16 3年10月生	24 3年4月生	9 2年4月生	26 2年10月生 1年10月生	11
6月	7 5年2月生	21 4年12月生	27 4年5月生	27 3年11月生	14 3年5月生	13 2年5月生	23 2年11月生 1年11月生	8
7月	5 5年3月生	19 5年1月生	25 4年6月生	25 3年12月生	12 3年6月生	11 2年6月生	28 2年12月生 1年12月生	6
8月	2 5年4月生	16 5年2月生	22 4年7月生	22 4年1月生	9 3年7月生	1 2年7月生	25 3年1月生 2年1月生	3
9月	6 5年5月生	27 5年3月生	26 4年8月生	26 4年2月生	13 3年8月生	12 2年8月生	22 3年2月生 2年2月生	7
10月	3 5年6月生	25 5年4月生	24 4年9月生	24 4年3月生	18 3年9月生	17 2年9月生	27 3年3月生 2年3月生	5
11月	1 5年7月生	22 5年5月生	28 4年10月生	21 4年4月生	15 3年10月生	14 2年10月生	17 3年4月生 2年4月生	2
12月	1 5年8月生	20 5年6月生	19 4年11月生	19 4年5月生	13 3年11月生	12 2年11月生	22 3年5月生 2年5月生	7
1月	10 5年9月生	24 5年7月生	30 4年12月生	23 4年6月生	17 3年12月生	16 2年12月生	26 3年6月生 2年6月生	11
2月	7 5年10月生	21 5年8月生	27 5年1月生	20 4年7月生	14 4年1月生	6 3年1月生	16 3年7月生 2年7月生	1
3月	4 5年11月生	6 5年9月生	19 5年2月生	19 4年8月生	13 4年2月生	5 3年2月生	22 3年8月生 2年8月生	7
会場	葦山福祉・保健センター							

※日時は、変更になる場合があります。

予防接種に関すること

定期予防接種:法律で定められている予防接種です。あらかじめ医療機関に予約をしてください。色のついているところが接種のめやす時期(標準的な接種期間)、○印の数字は接種回数です。

標準的な接種期間: 接種可能期間

対象疾患・ワクチン	定期接種の対象年齢	月齢・年齢・学年															
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	9歳
ロタウイルス	1価:生後6週～24週	① ②															
	5価:生後6週～32週	① ② ③															
ヒブ	2か月～5歳未満	① ② ③ ④															
		① ② ③ ④															
四種混合	2か月～7歳6か月未満	四種混合:ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風 ① ② ③ ④															
B型肝炎	1歳未満	① ② ③															
		①															
麻しん・風しん	1期:1歳～2歳未満	1期															
	2期:[年長児]	2期															
水痘	1歳～3歳未満	① ②															
日本脳炎	1期:6か月～7歳6か月未満	標準的な期間:3歳のうちに2回、4歳のうちに1回接種(計3回) ① ② ③															
	2期:9歳～13歳未満 [小学4・高校3年生]	標準的な期間:9歳で1回接種 (※積極的勧奨の差し控えによる特例があり、高3で通知します) ④															
二種混合	11歳～13歳未満 [小学6年生]	二種混合:ジフテリア・破傷風 ①															
HPVワクチン(子宮頸がん)	小学6年生～高校1年生女子 [中学1年生]	※積極的勧奨の差し控えによる特例者には個別通知しました ① ② ③															
高齢者肺炎球菌	○定期接種の対象:令和5年度中に、65.70.75.80.85.90.95.100歳となる方 ○接種回数:1回 ○自己負担額:4,000円前後																
高齢者インフルエンザ	○定期接種の対象者:①満65歳以上の方 ②満60～64歳で、心臓・じん臓・呼吸器などの疾患で障害があり、医師が必要と認めた方(詳しくはかかりつけ医にご相談ください) ○接種回数:1回 ○実施期間:令和5年10月1日～令和6年2月29日 ○自己負担額:1,200円(生活保護受給者は接種前に申請をすれば自己負担が免除になります) ※[]内の学年にて、市から通知文が届きます。 *令和5年2月現在の接種状況です。年度の途中で制度が変更となることがありますので、詳細はお問い合わせください。																

2023.2.20ver

延ばそう健康寿命 がん検診一覧



種類	実施回数	対象者	自己負担金	検診の内容等	実施期間	
胃がん検診	バリウム検査	4	35歳以上	500円	問診・胃部エックス線検査	6月～12月
	胃内視鏡検査		50歳以上の偶数年齢	3,500円	問診・胃内視鏡検査(バリウム検査と併用不可) ■健康づくり課窓口または電話で事前に申し込みください。検診対象が確認し、検診票等を交付します。	6月～1月 (予約は12月まで)
	胃がんリスク検査	5	35歳以上49歳以下及び50歳以上の奇数年齢で、過去に市の検診でリスク検査を受けていない人のうち条件に該当する人	1,000円	問診・血液検査 ■健康づくり課窓口で事前に申し込みください。検査対象が確認し問診票等を交付します。 ※内服中の人はお薬手帳をご持参ください。	
肺がん・結核検診(胸部レントゲン検査)	肺癌検査	5	40歳以上	100円	問診・胸部エックス線検査	
	肺癌検査		今年度の市の肺がん・結核検診を受けた人で希望する人	300円	痰の検査(細胞診) ■希望する場合は肺がん・結核検診受付で申し出てください。痰検査容器の事前配布はしていません。3日分の痰を採取し、後日医療機関に持参してください。	6月～12月
大腸がん検診	大腸がん検診	6	35歳以上	500円	問診・便潜血反応検査(2日法) ■採便容器・採便シートは健康づくり課(葦山福祉・保健センター)、国保年金課(伊豆長岡庁舎)、市民課(葦山支所・大仁支所)にあります。「別容器」の表記がある場合は受診する医療機関で配布します。	
	肝炎ウイルス検診		40歳以上で過去に市の肝炎検診を受けていない人	無料	問診・血液検査(B型・C型肝炎ウイルス検査)	6月～9月 12月
	前立腺がん検診		50歳以上の男性	500円	問診・血液検査(PSA検査)	
	骨粗しょう症検診		40・45・50・55・60・65・70歳の女性	無料	問診・骨密度測定(エックス線検査)	
子宮頸がん検診	子宮頸がん検診	7	20歳以上の女性	500円 ※クーポン対象者無料	問診・視診・内診・細胞診 ※クーポン対象者(H14年4月2日～H15年4月1日生)	
	マンモグラフィ検査		個別検診の場合:40歳以上の女性 集団検診の場合:40歳以上の偶数年齢の女性	1,000円 ※クーポン対象者無料	問診・乳房エックス線検査(乳房エコー検査と併用不可) ※クーポン対象者(S57年4月2日～S58年4月1日)	6月～12月
乳がん検診	乳房エコー検査		集団検診のみ:35歳～39歳の女性、40歳以上の奇数年齢の女性	1,000円	問診・乳房超音波検査(マンモグラフィ検査と併用不可)	
	歯周病検診	8	20歳以上	100円	問診・むし歯・歯周病等の検査	6月～1月
健診	一般健診		40歳以上の生活保護受給者	無料	問診・身長・体重・腹囲・血圧測定・血液検査等 ■健康づくり課窓口または電話で事前に申し込みください。確認し問診票等を交付します。	6月～9月

がん検診受診後の流れ

がん検診では、「がんの疑いあり(要精検)」が「がんの疑いなし(精検不要)」かを調べ、「要精検」の場合には精密検査を受けます。がん検診は、「がんがある」「がんがない」ということが判明するまでのすべての過程を指します。



検診は、市と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有されます。精密検査の結果は、市へと報告されます。また最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

【継続受診のすすめ】
 がん検診は、継続して定期的に行いましょう。検診は早期発見に有効です。

【がん検診の目的】

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減らすことです。無症状のうちに「がん」を早期に発見し治療することにより、がんによる死亡のリスクを減らすことができます。がん検診は症状のない人が行う検査のため、症状がある場合は検診ではなく、必ず医療機関を受診し、診断のための適切な検査をしてください。

【がん検診の利益、不利益】

がん検診には不利益(デメリット)もあることから、症状のない人が受けた時に利益(メリット)が不利益を上回る検診だけを受けましょう。がん検診の最大のメリットは、がんを早く見つけられることです。デメリットとしては、がんが100%見つかるわけではないことや、不要な検査や治療を繰り返すことがあることなどがあります。

【がんによる死亡について】

現在、国内のがんによる死亡者数は年間37万人を超え、死亡原因の第1位です。肺がん、大腸がん、胃がんは、がんによる死亡原因の上位に位置します。また、乳がんは女性におけるがんによる死亡原因の上位に位置し、子宮頸がんは、女性のがんの中で多く、特に30～40歳代の女性で近年増加傾向にあります。しかし、診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となりつつあります。

国が推奨する受診間隔

種類	対象者	受診間隔
胃がん検診	50歳以上	2年に1回
大腸がん検診	40歳以上	1年に1回
肺がん検診	40歳以上	1年に1回
乳がん検診	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん検診	20歳以上	2年に1回